|  |
| --- |
| **下町水網地域の景観形成計画書** |
| 建築物等の名称 |  |
| １　周辺の状況 |
| ２　共通事項（景観形成に関して配慮したことを具体的に記入してください。） |
| うるおいのあるまちをつくるための事項 |
|  | 【広がりのある親水空間を確保し、自然環境に親しめるよう工夫する。】記入欄： |
| 【緑化に当たっては、樹種の選定に配慮するとともに、既存の樹木なども生かし、周辺の景観との調和を図る。】記入欄： |
| 【点在する水域をみどりで連続させるよう、水とみどりのネットワーク化を図る。】記入欄： |
|  | 【道路沿いや水際についてはオープンスペースを設けるなど圧迫感を和らげる工夫をする。】記入欄： |
| 【周辺環境に応じた照明を用いて、適度な照度や色彩などに配慮する。】記入欄： |
| 調和のあるまちをつくるための事項 |
|  | 【地域の特徴に合わせたまちなみにするため、建築物のデザインや形状を工夫する。】記入欄： |
| 【敷地は、道路と一体化したオープンスペースをつくるよう工夫する。】記入欄： |
| 【オープンスペースの歩行者空間においては、バリアフリー化を図る。】記入欄： |
| 地域の個性と文化を生かすための事項 |
|  | 【周辺に、歴史的資源や残すべき自然等がある場合は、これらを生かす工夫をする。】記入欄： |
| 【まちの特性を生かしたイメージの創出を図る。】記入欄： |
| ３　個別事項（景観形成に関して配慮したことを具体的に記入してください。） |
| （１）建築物の建築に関する事項 |
| 配置 | 【壁面の位置の連続性や隣棟間隔の確保など、周辺のまちなみに配慮した配置とする。】記入欄： |
| 【開放感のあるオープンスペースを確保する。】記入欄： |
| 【水辺からの見え方に配慮した配置とする。】記入欄： |
| 【敷地内に歴史的な資源や残すべき自然がある場合は、これらを生かした建築物の配置とする。】記入欄： |
| 高さ・規模 | 【上空への開放感を創出するよう周辺の建築物群のスカイラインとの調和を図る。】記入欄： |
| 【公園、街路、河川など主要な眺望点からの見え方を検討する。】記入欄： |
| 形態・意匠・色彩 | 【形態・意匠は、建築物全体のバランスだけでなく、周辺建築物の形態やまちなみとの調和を図る。】記入欄： |
| 【建築物の附帯物については、本体だけでなく、周辺景観との調和や周囲からの見え方との調和を図る。】記入欄： |
| 【集合住宅のバルコニーやベランダについては、道路から洗濯物が見えにくい構造・意匠とするとともに、エアコンの室外機等が目立たないよう配慮する。】記入欄： |
| 【外壁は、長大で単調な壁面を避けるなど、圧迫感を感じさせないようにする。】記入欄： |
| 【色彩は、色彩基準に適合するとともに、周辺景観との調和を図る。】記入欄： |
| 附属施設 | 【周囲からの見え方を考慮し、建築物に附属する駐車場、ゴミ置場、受水槽等の施設は、その配置やデザインを工夫する。】記入欄： |
| 公開空地・外構・緑化等 | 【一体的な空間を確保できるよう、隣接するオープンスペースとの連続性を確保する。】記入欄： |
| 【敷地内や屋上・壁面等はできる限り緑化を図り、周辺のみどりと連続性をもたせるなど、うるおいのある空間を創出させる。】記入欄： |
| 【舗装や照明灯などは、まちなみや隣接する敷地、接する道路などとの調和を図る。】記入欄： |
| 【夜間の景観を落ち着きあるものにするため、周辺の景観に応じた照明とする。】記入欄： |
| （２）工作物の設置に関する事項 |
| 配置 | 【オープンスペースなどにより、圧迫感を与えないようにする。】記入欄： |
| 規模 | 【周辺の建築物等の大きさ、圧迫感を感じさせない隣棟間隔などを確保し、長大な壁面の工作物は避ける。】記入欄： |
| 形態・意匠・色彩 | 【周辺のまちなみや、建築物本体との調和を図る。】記入欄： |
| 【色彩は、色彩基準に適合するとともに、周辺景観との調和を図る。】記入欄： |
| 緑化 | 【敷地内は、できる限り緑化を図り、周辺のみどりとの連続性を確保する。】記入欄： |
| （３）開発行為に関する事項 |
| 土地利用 | 【事業地内のオープンスペースと周辺地域のオープンスペースが連続的なものとなるように計画するなど、周辺地域の土地利用と関連付けた土地利用計画とする。】記入欄： |
| 【地区らしさを創出するために、事業地内の将来的イメージを意識し、地区ごとにまとまりのある土地利用をする。】記入欄： |
| 土地の区画の変更等 | 【事業地内に歴史的な遺構や残すべき自然がある場合は、その場所を公園等のオープンスペースに取り込んだ計画とする。】記入欄： |
| 【一団の土地を分割して利用する場合は、ゆとりある区画となるようにする。】記入欄： |
| 【区画割により不整形な土地が生じる場合や、擁壁の設置や法面が生じる場合は、周辺の景観の形成に役立つようにする。】記入欄： |
| 【一体的な開発を行う事業地では、電線類は目立たなくさせる。】記入欄： |
| （４）みどりに関する事項（伐採・移植を含む。） |
| 身近なみどり、生け垣など | 【巨樹、古木、高木だけでなく、既存の樹木も生かし、伐採は必要最小限となるようにする。】記入欄： |
| 【積極的なみどりの創出を図るとともに、その配置は、周辺の景観に調和させる。】記入欄： |
| 連続するみどり | 【公園、街路樹、緑道、身近なみどりなどと連続させる。】記入欄： |